

産業の発達と村や町の自治

学習日 月 日

点

1 次の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。

室町時代には、同じ田畑で米と麦をつくる農業が広まりました。商業もさかんになり、各地で開かれる市は月6回になって、物を運ぶ業者も活やくしました。

① 同じ田畑で米と麦を交互（こうご）につくる農業を何とといいますか。

()

② 各地で月6回開かれた市を何とといいますか。

()

③ 馬の背に荷物を積んで運んだ業者を何とといいますか。

()

④ 港で船の荷物をあずかり、運んだ業者を何とといいますか。

()

⑤ 商人や手工業者が、公家（くげ）や寺社に税を納めるかわりに営業を独占（どくせん）した団体を何とといいますか。

()

⑥ 市での取引に使われた、中国から輸入された錢を、次の〔 〕から1つ選びなさい。

〔 和同開珎（わどうかいちん） 明錢（みんせん） 小判（こばん） 〕

()

2 次の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。

村では、農民が自分たちで村をまとめるようになりました。団結した農民は、借金の取り消しを求めて立ち上がりました。また、京都では、裕福（ゆうふく）な商工業者が町の政治を動かし、戦乱でとだえていた祭りを復興させました。

① 農民が村をまとめるためにつくった組織を何とといいますか。

()

② ①で村のおきてを決めた話し合いを何とといいますか。

()

③ 1428年、近江（おうみ）の馬借や京都の農民が起こした一揆を何とといいますか。

()

④ 農民が幕府に出すよう求めた、借金を取り消す命令を何とといいますか。

()

⑤ 京都の町の政治を動かした、裕福な商工業者を何とといいますか。

()

⑥ ⑤の人々が復興させた、京都の祭りを何とといいますか。

()

解答

1

- ① 二毛作（にもうさく）
- ② 定期市（ていきいち）
- ③ 馬借（ばしゃく）
- ④ 問丸（といまる）（問）
- ⑤ 座（ざ）
- ⑥ 明銭

2

- ① 惣（そう）
- ② 寄合（よりあい）
- ③ 正長（しょうちょう）の土一揆（どいっき）
- ④ 徳政令（とくせいれい）
- ⑤ 町衆（まちしゅう）
- ⑥ 祇園祭（ぎおんまつり）